

タブレットを利用して自分の考えを発表する

小・義（前期課程）5年 社会「自動車を作る工業」

1人で1台使用

本時の目標

自分の考えた未来の自動車を発表することができる。



タブレット端末を活用するねらい

自分の考えを視覚的に分かりやすく伝えることができる。

育成を目指す情報活用能力

- ・相手や目的を意識したプレゼンテーションの方法（知識・技能）
- ・相手や目的に応じ、自他の情報を組み合わせて適切に表現する。（思考・判断・表現）

〔学習の実際〕

	学習場面の概要	学習の様子またはタブレット端末画面
導入	<p>1 未来の自動車を今までの学習を生かして考える。</p> <p>考えた未来の自動車について、発表しよう。</p>	
展開①	<p>2 今までの学習から未来の自動車について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none">・自分の考えた自動車を考える。・グループで話し合い、未来の新しい自動車について話し合う。	<ul style="list-style-type: none">・タブレットで撮影した児童のプリントを映し出す。
展開②	<p>3 自分の考えた未来の自動車を発表する。</p> <p>◎ 児童の書いたプリントを撮影し、発表時に提示する。</p> <p>※ 今後の地球環境に関して、何が重要かについても発表する。</p>	
まとめ	<p>4 今考えられている新しい自動車は、何を重要視しているかまとめる。</p> <p>自動車会社では、消費者の需要や社会の変化に対応して、よりよい製品を生み出している。</p>	<ul style="list-style-type: none">・上記画像と同様だが、プリントの字が薄いと見えにくくなる場合があります。

○ 児童生徒の変容（感想・授業中の様子・発言）

- ・自分の書いたものをそのまま使うので説明がしやすい。
- ・友達の考えをそのまま見聞きするので発表者の考えを理解しやすい。

○ 活用する上でのポイント

- ・児童の中にはペンを使って映し出したもの書き足して説明と分かりやすい。
- ・薄く書いている児童は若干見づらさもあったので濃く描くように指導するとよい。